

戸田康之さん『字幕か吹替か』(5月4日公開分)

戸田です。サインネームではこのように表します。よろしく。

今日は、映画について話をします。

私は映画が大好きです。邦画よりも洋画を見ることの方が多いです。それは、邦画にはほとんど字幕がついていないからです。ろう者の私が見ても内容が分かりません。洋画の場合は日本語字幕がついていますから、楽しむことができます。ですが、邦画でもDVDであれば日本語字幕もつけられるので、映画館で見られなくてもDVDをレンタルして楽しむことができます。また、映画館によっては、邦画でも期間や上映時間を決めて字幕付き上映をしているところが、数は少ないですがあるので、そういう時には映画館で邦画が楽しめます。

私には子どもがいますが、家族で映画を見に行こうとなったときに困ってしまうことがあるんです。子どもが見たがるような「アナと雪の女王」や「ミニオンズ」などの人気映画は、当然私も見たいので子どもと一緒に映画館に行くのですが、字幕上映と日本語吹替上映の時間が分かれているんです。私はろう者ですから字幕上映の方を見たい、でも声は英語なので子どもたちは全く分かりませんし字幕で見るには年齢的にまだ早いので、子どもは吹替の方がいいとなります。吹替版を見ても字幕が無ければ私にはさっぱり内容が分からないので、子どもと一緒に映画を楽しめません。日本語吹替と字幕の両方がついていれば、ろう者の親と聴者の子どもと一緒に楽しめるのですが、今は分かれてしまっているんです。聴者の子どもがいるろう者の親はみんな同じ悩みを抱えていると思います。

ですから、今後、日本語字幕上映と吹替上映だけではなくて、その両方をつけた映画上映が増えてほしいなあと思っています。